

経営組織演習

選択 2単位

磯山 優

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は、個人や組織によって形成される社会ネットワークを分析する手法について学び、さらに分析ソフトを用いて実際に自ら身近な事例を分析し、より深く理解できるようにすることを目的とする。

2. 授業の到達目標

- ① 社会ネットワークや組織の基本的な特徴を理解する。
- ② 社会ネットワークを分析する手法の数学的基礎について理解する。
- ③ 自分の身近な社会ネットワークを分析し、社会ネットワークの分析手法について理解する。

3. 成績評価の方法および基準

- ① 数回課題を出すので、その課題の出来を評価する。
- ② 練習問題を解いてもらうことがあり、その点数を評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない。

参考文献

ワッサーマン・ファウスト 社会ネットワーク分析―「つながり」を研究する方法と応用― ミネルヴァ書房

金光淳 『社会ネットワーク分析の基礎』 ミネルヴァ書房

デノイー・ムルヴァール・パタゲーリ 『Pajekを活用した社会ネットワーク分析』 東京電機大学出版局

5. 準備学修の内容

- ① フリーのネットワーク解析ソフトPajekを利用できることが望ましい。
- ② 高校程度の行列に関する知識があると理解が深まる。

6. その他履修上の注意事項

授業の進め方や分析事例等について、受講者との相談によって決めることがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスおよび使用するソフトについて
・この授業の概要について紹介し、成績評価の方法等についても説明する。
・ネットワーク分析に使用するためのソフトPajecについて紹介し、使用方法等について説明する。
- 【第2回】 社会ネットワーク論の概要
・社会ネットワーク分析に大きな影響を与えたGranovetterの弱連結の理論、Milgramの六次のつながり理論について学ぶ。
- 【第3回】 社会ネットワーク分析の手法①
・社会ネットワークを分析するための数学的な方法について学ぶ。今回は、有効グラフ・無向グラフの違いなど、グラフ理論の基礎から学ぶ。
- 【第4回】 社会ネットワーク分析の手法②
・前回に引き続き、数学的な方法について学ぶ。今回は、社会ネットワーク分析でしばしば用いられる指標のうち、ネットワークの規模、中心性、凝集性などについて学ぶ。
- 【第5回】 社会ネットワーク分析の手法③
・自分の血縁関係や知り合いなどを中心に、自分を中心としたネットワークを事例として分析する。
- 【第6回】 部門内のネットワーク①
・自分の身近な職場におけるネットワークを分析する基礎として、部門内組織の特徴について学ぶ。
- 【第7回】 部門内のネットワーク②
・自分の身近な職場におけるネットワークを分析し、部門内のネットワークに関する理解を深める。
- 【第8回】 部門組織のネットワーク①
・自分が所属する事業所の部門間のネットワークを分析する基礎として、部門組織の特徴について学ぶ。
- 【第9回】 部門組織のネットワーク②
・自分の身近な職場におけるネットワークを分析し、部門内のネットワークに関する理解を深める。
- 【第10回】 組織間関係の理論①
・複数の組織によって形成される組織間関係を分析する理論として、取引コスト論を取り上げる。
- 【第11回】 組織間関係の理論②
・複数の組織によって形成される組織間関係を分析する理論として、資源依存理論を取り上げる。
- 【第12回】 大規模な社会ネットワークの分析①
・社会ネットワーク分析の経営学への応用である役員兼任のネットワーク分析について、Mizuruchi, Mariolis, Scott, Mintz and Schwartzらの理論について学ぶ。
- 【第13回】 大規模な社会ネットワークの分析②
・役員兼任など人的結合による大規模な社会ネットワークを、実例を取り上げながら分析する。
- 【第14回】 大規模な社会ネットワークの分析③
・自分の会社と取引先との関係など身近な事例を分析し、大規模な社会ネットワークを分析する手法について理解を深める。
- 【第15回】 まとめと総合演習
・本演習で学んだ内容をまとめ、内容を統括する。